

各関係団体・機関におけるたばこ対策の取組について

資料2-2

1 喫煙が及ぼす健康影響についての知識の普及啓発

名簿 番号	機関・団体	①現在取り組んでいる事業・実績等	②次年度の取組予定 (新規取組の検討等)	③今後の課題	④他機関・団体への協力依頼希望、 期待すること
3	滋賀県医師会	特定健診の結果通知の際に、喫煙者に対して、自身の健診結果に合わせた禁煙の重要性を高めるための情報提供を行っている。	喫煙外来を増やす、生活習慣病の患者に喫煙の危険性を解説する。	COPDなども増えており循環器より呼吸器の危険性を指導する。	
4	滋賀県歯科医師会	・たばこ使用によるリスクファクター（歯周病、口腔がん、口臭、修復物の着色や治療後の治癒阻害）などの関連性への理解を深める。「世界禁煙デー」および「禁煙週間」にかかる街頭啓発へ参加する。特に「口腔がんチェック実施歯科医院」による受診者への啓発を行っている。	前年度の取組みを継続して行う。		
5	滋賀県薬剤師会	・滋賀県薬剤師会HPでの禁煙支援出前講座実施の広報および実施実績を公表する。 ・禁煙支援出前講座を実施する。 ・健康支援薬剤師のいる薬局等での禁煙啓発活動を実施する。 ・禁煙支援・受動喫煙防止に関する街頭啓発活動を実施する。		・禁煙支援出前講座の講師を育成していきたい（研修会内容の充実、講師補助制度の実施など）。	・県民に対する禁煙支援協働啓発活動の検討および実施を求める。 ・本会が実施する研修会等への講師派遣を求める。
6	滋賀県健康推進員団体連絡協議会	・「ヘルスサポーター養成を通じた地域をつなぐ健康プロジェクト働き世代」という生活習慣病予防を目的とする講習会の中で、禁煙や受動喫煙について啓発した。 ・「世界禁煙デー」および「禁煙週間」の啓発活動に市町協議会ごとに参加した。 会員、地域住民を対象に啓発ティッシュ等配布による啓発を行った。	前年度の取組みを継続して行う。	まずは改めて会員に周知し、会員が学んだことを地域住民に伝えていきたい。 各地域での行事や各世代を対象にした講習会等で地域住民に伝える機会があるので、喫煙が及ぼす健康影響等について今まで以上に啓発していきたい。	
10	滋賀県中学校長会			保護者向けに対策が必要である。	
11	滋賀県高等学校長協会	保健や家庭などの授業で喫煙の健康への影響、妊娠と喫煙の関係等について具体的に扱っている。	前年度の取組みを継続して行う。	保健体育科、家庭科等で主に取り扱ってはいるが、時間数自体も少なく、一過性のものになりやすい。教科による啓発だけにとどめず、さまざまな方向からのアプローチを定期的に行う必要性を感じる。	
14	滋賀労働局	労働基準監督署が主催する説明会等において、機会や関連があれば喫煙が及ぼす健康影響について簡単な説明をしている。	前年度の取組みを継続して行う。		
15	滋賀県市長会	広報誌やホームページを活用し、喫煙が及ぼす健康影響について知識の普及を行っている。個別保健指導では、喫煙者へ禁煙方法や禁煙外来の情報を提供している。	引き続き、幅広い年代に正しい知識が普及できるよう様々な媒体で周知・啓発を図る	加熱式たばこなど従来のたばこではないたばこについて、安全性が高いととらえている人もいるので、新型たばこについての周知が必要である。 スモーカーライザーのような、見える化できるツールがなく、周知啓発方法が限られている。効果的な啓発の方法について検討が必要である。	
16	滋賀県市町保健師協議会	・特定保健指導利用者等個別相談の喫煙者に対して情報提供している。 ・世界COPDデーに合わせた周知啓発を行っている。（市公式LINE配信、医療機関での啓発資料設置） ・肺年齢測定会を健康フェアや団体等で実施する際に禁煙啓発を実施している。	前年度の取組みを継続して行う。	引き続き喫煙が及ぼす健康影響についての知識普及啓発は必要と考える	啓発媒体等の提供や情報共有を求める。

各関係団体・機関におけるたばこ対策の取組について

資料2-2

2 20歳未満の者の喫煙(防煙)対策

名簿 番号	機関・団体	①現在取り組んでいる事業・実績等 (新たな取組については、項目ごとに 【新】を追記ください。)	②次年度の取組予定 (新規取組の検討等)	③今後の課題	④他機関・団体への協力依頼希望、期 待すること
3	滋賀県医師会	学校医を中心とした学校保健活動を通じて、児童・生徒に対する健康教育等を推進している。	現実中高生の喫煙は減少しており、今の所このままでよいと思われる。他のドラッグ、アルコールの方が大きい問題かも。	コンビニ等で購入の規制をきっちりしてもらう。	
4	滋賀県歯科医師会	幼・小・中・高等学校歯科医（校医）として啓発する。	前年度の取組みを継続して行う。	学校保健委員会を活用する。	各幼稚園・学校及び教育委員会の協力を求める。
5	滋賀県薬剤師会	・学校薬剤師による学習指導要領に沿った喫煙防止教育を実施している。 ・薬物乱用防止教育の中で、喫煙防止教育を実施している。 ・長浜市長浜青少年センター主催の令和7年度薬物乱用防止教室での喫煙防止の講演（28校）に講師を派遣している。	・学校薬剤師研修会を実施し、質の向上に努める。 ・くすり教育の中においても受動・喫煙防止教育を考える。	・学校薬剤師研修会を実施し、質の向上に努める。 ・各学校担当の学校薬剤師による喫煙防止教室の実施。 ・くすり教育の中においても受動・喫煙防止教育を考える。	・学校、PTA等の協力のもとで、保護者対象の受動・喫煙防止教育の実施を求める。 ・受動・喫煙防止教育の時間の確保を求める。 ・学校で喫煙防止教室の講師を行っている各団体や職種との連携、情報共有を求める。
6	滋賀県健康推進員団体連絡協議会	・各市町協議会で地域住民を対象とした食育等の啓発活動の中で併せて啓発している。 ・部会活動として小中学校にて防煙教室を実施している。（守山市協議会）	前年度の取組みを継続して行う。	まずは改めて会員に周知し、会員が学んだことを地域住民に伝えていきたい。 各地域での行事や各世代を対象にした講習会等で地域住民に伝える機会があるので、喫煙が及ぼす健康影響等について今まで以上に啓発していきたい。	
8	滋賀県たばこ商業協同組合連合会	たばこ店、自動販売機、コンビニエンスストア等いずれの販売形態であっても、年齢を確認したばこを販売する。 小売店店頭における、愛の声掛け運動や駅頭・街頭にける啓発活動を行っている。	前年度の取組みを継続して行う。		20歳未満の者の喫煙防止キャンペーンへの参画をお願いしたい。
9	滋賀県小学校長会	指針R3.3月改訂版の通り（変更なし） 受動喫煙も含め、高学年を中心に指導を実施している。少年センターの職員を講師として招聘している学校もある。		家庭と一体となって喫煙防止を呼びかけるため、保護者への啓発をより一層強める必要がある。	必要に応じて、喫煙防止教室に医療関係者をゲストティーチャーとしてお迎えできれば有難い。
10	滋賀県中学校長会	・保健体育の保健分野の授業での「たばこの害」についての指導	・保健体育の保健分野の授業での「たばこの害」についての指導を行う。	・リーフレット等の配布を継続してほしい。 ・保護者が喫煙していると中学生から喫煙する傾向があることから成人への禁煙対策を進める。	
11	滋賀県高等学校長協会	各学校で生徒の喫煙が発覚した場合、特別指導を行っている。	前年度の取組みを継続して行う。	電子タバコの普及により、若年層がオシャレ感覚で手軽に使用する風潮が感じられる。においがほとんどしないものもあり、生徒が行為に及んでいる場合でもなかなか認識できない状況も生じている。	
12	滋賀県青少年育成県民会議	日本たばこ株式会社「20歳未満喫煙防止」新聞広告へ後援している。 非行防止事業の一環として ・各市町の地域での巡回パトロール ・啓発ポスター等の青少年育成県民会議関係団体への配布及び掲示の依頼 ・事務所および各種大会、研修会等でのポスターの掲示をおこなっている。	前年度の取組みを継続して行う。	当県民会議主催の「中学生広場」や「青少年育成大会」など多くの未成年とその保護者などが集う会場での啓発グッズの配布など対象を拡大して参りたい。	各機関からの人的派遣、資料、グッズなどの提供をお願いしたい。 （非行防止に関わる啓発グッズは作成しているが、喫煙防止のグッズは作成できていない。）
14	滋賀労働局	「職場における受動喫煙防止のためのガイドライン」に基づき、20歳未満の労働者には喫煙専用室等で従事させない（清掃作業等を行わせない）よう行政指導することがある。	前年度の取組みを継続して行う。		
15	滋賀県市長会	市内小中義務教育学校の体育科の保健領域及び保健体育科で実施した。 すべての中学校および3校の小学校においては、がん専門医及び、がん経験者から直接話を聞く機会を設定して、がん教育を行った。	小学校にがん専門医とがん経験者にきていただき、今年度が3年目となる。小学校でがん教育を行う下地を作ってきたが、まだその範囲は狭い。今後は、より多くの学校で実施できるよう周知を行っていく。	中学卒業後から20歳になるまでの世代に情報提供できる機会が少なく、対策が難しい。	高校、大学などの教育機関や就労の場での対策をお願いしたい。
16	滋賀県市町保健師協議会	・がん教育と合わせて学校と協働し、防煙教育を小学校で実施している。	前年度の取組みを継続して行う。	引き続き20歳未満の者の喫煙対策は必要と考える。	各学校への喫煙（防煙）対策の必要性についての働きかけを求める。
18	滋賀県教育委員会事務局保健体育課	教職員が効果的な指導を実施できるよう、保健・医療機関と連携しながら取組を推進する。	教職員が効果的な指導を実施できるよう、保健・医療機関と連携しながら取組を推進する。		



各関係団体・機関におけるたばこ対策の取組について

資料2-2

3 受動喫煙防止対策

名簿 番号	機関・団体	①現在取り組んでいる事業・実績等 (新たな取組については、項目ごとに 【新】を追記ください。)	②次年度の取組予定 (新規取組の検討等)	③今後の課題	④他機関・団体への協力依頼希望、期待すること
4	滋賀県歯科医師会	学会、会議、セミナー、研修会、展示会及び 懇親会会場、各歯科医院で完全禁煙を実施している。	前年度の取組みを継続して行う。		
5	滋賀県薬剤師会	・薬剤師会館を全面禁煙としている。 ・県内各市町（健康推進課等）健康推進委員養成のための講座に健康支援薬剤師による講義を入れてもらえるよう働きかけを行っている。		・ 本会会員の喫煙対策の徹底および非喫煙率100%に向けた取り組みを検討する。 ・ 薬局敷地内禁煙を徹底する。	・ 県内各市町（健康推進課等）健康推進委員養成のための講座に健康支援薬剤師による講義を入れていただきたい。
6	滋賀県健康推進員 団体連絡協議会	・各市町協議会で地域住民を対象とした食育等の啓発活動の中で併せて啓発している ・会員、地域住民を対象に啓発ティッシュ等配布による啓発を行っている。	前年度の取組みを継続して行う。	まずは改めて会員に周知し、会員が学んだことを地域住民に伝えていきたい。 各地域での行事や各世代を対象にした講習会等で地域住民に伝える機会があるので、喫煙が及ぼす健康影響等について今まで以上に啓発していきたい。	
7	滋賀県喫茶飲食業 生活衛生同業組合	・ホームページにて、健康増進法に関する厚生労働省作成のリーフレットや法令の概要を簡単にまとめた資料を掲載。 ・公益財団法人全国生活衛生営業指導センター「生衛業受動喫煙防止対策助成金」について、ホームページにて周知。屋内喫煙室整備のための資金確保や客席スペース減少等の課題により、助成金の受給には至っていない。 ・通常総会において、健康増進法に則った取組の重要性を共有。	前年度の取組みを継続して行う。  ・事業者より、相談があれば県生活衛生営業指導センターと連携し、受動喫煙防止対策助成金の活用を進める。 ・総会や開催する各種勉強会において取組の重要性を組合員と共有するとともに、県を含む皆さんと連携して、引き続き、望まない受動喫煙防止に向けた普及啓発を進める。	・法令に則った対策が何なのかを組合員に継続して伝える。 ・当組合の組合員は、厳しい経営環境の中小零細の経営者が多く、改装資金がない、店舗が狭いなどの理由で店内を禁煙としたお店が多い中、店舗の外の敷地内で通行人に影響のない場所に灰皿を設置するなど、各々で工夫して対応している。 しかし大手の飲食チェーン店は、豊富な手持ち資金で喫煙室を整備していると聞いており、お客様を奪われてしまう心配がある。	・中小零細の飲食店に対する需要喚起策を進めていただきたい。 ・県には、店舗に対しての受動喫煙対策に関わる法令の周知啓発や店頭標示の適切な運用へ協力していただきたい。 ・新規店の店頭表示について、ルールがわからないまま営業しないよう対応していただきたい。 ・たばこ税を活用し、飲食店の屋内・外の喫煙所整備のための県独自の補助金制度の創設や、公共の喫煙所の整備をしていただきたい。
8	滋賀県たばこ商業 協同組合連合会	受動喫煙防止の為、地方公共団体に対して施設の設置を促進している。	前年度の取組みを継続して行う。		地方公共団体に対して、駅頭及び公共施設における受動喫煙防止施設の設置をお願いしたい。
9	滋賀県小学校長会	学校の敷地内は原則禁煙としている。			
10	滋賀県中学校長会	・学校敷地内を全面禁煙としている。 ・「受動喫煙対策リーフレット」を配布している。	前年度の取組みを継続して行う。	・学校敷地内だけではなく、各家庭内や地域施設等でも受動喫煙対策を進める必要がある。	
11	滋賀県高等学校長 協会	教職員、保護者、利用者等の理解と協力のもと、敷地内の全面禁煙を継続している。	前年度の取組みを継続して行う。	学校敷地外での喫煙について、学校近隣の住民から苦情を受けるケースがある。	
12	滋賀県青少年育成 県民会議	・事務所の屋外に喫煙コーナーを設置し分煙を実施している。 ・行事実施時には会場にあった分煙（敷地外・室内）を実施している。 どの会場も館内は禁煙としている。	前年度の取組みを継続して行う  尚、次年度は事務所を移転予定であるが、移転先も敷地内禁煙が実施されているところ。		
14	滋賀労働局	・労働安全衛生法第68条の2（受動喫煙の防止）や「職場における受動喫煙防止のためのガイドライン」の内容について行政指導を行っている。 ・既存特定飲食提供施設に対し、受動喫煙防止対策助成金の活用を促している。	前年度の取組みを継続して行う。		
15	滋賀県市長会	・受動喫煙防止対策として、広報誌やホームページを活用し、受動喫煙に関する知識の普及に取り組んでいる。自治会館等の受動喫煙防止について自治会に取り組みを依頼している。 ・健康推進員養成講座で受動喫煙防止を取り上げ、健康推進活動にて取り組んでいる。	前年度の取組みを継続して行う。	新型たばこや、敷地内（屋外）の受動喫煙について対策が必要である。	
16	滋賀県市町保健師 協議会	・母子健康手帳交付時、新生児訪問や乳幼児健診時に家族に喫煙者がいる場合、受動喫煙防止の情報提供をしている。	前年度の取組みを継続して行う。	健康増進法改正により屋内の受動喫煙対策は進んだが家庭内での受動喫煙対策が必要である。	建物内禁煙だけでなく敷地内禁煙が進むことが望ましい。

各関係団体・機関におけるたばこ対策の取組について

資料2-2

4 禁煙の支援

名簿 番号	機関・団体	①現在取り組んでいる事業・実績等 (新たな取組については、項目ごとに 【新】を追記ください。)	②次年度の取組予定 (新規取組の検討等)	③今後の課題	④他機関・団体への協力依頼希望、期待 すること
5	滋賀県薬剤師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滋賀県薬剤師会HPへの健康支援薬剤師のいる薬局等の情報を掲載している。</li> <li>・令和7年度滋賀県薬剤師会認定健康支援薬剤師研修会を実施している。(7/6実施済み)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年度研修会を実施し、質の向上に努める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康支援薬剤師による禁煙支援出前講座を実施していることの周知にお力添えをいただきたい。</li> <li>・他団体とコラボした禁煙支援に取組みたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康支援薬剤師による禁煙支援出前講座を実施していることの周知にお力添えをいただきたい。</li> <li>・他団体とコラボした禁煙支援の取組みたい。</li> </ul>
11	滋賀県高等学校校長協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(教職員向け)校内安全衛生委員会(月1回開催)で話題提供として、禁煙外来等の案内を出す。</li> <li>・職員室にチラシ等の掲示を進める。</li> </ul>	教職員に対する支援は少しではあるが講じることが可能ではあるが、未成年である生徒への禁煙支援は現実的には不可能であり、その役割を家庭に委ねているのが実情である。	(教職員向け)喫煙者が限定的であるため、全校的な取組には広がっていない。	
15	滋賀県市長会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌やホームページで、喫煙が及ぼす健康影響について知識の普及を行っている。</li> <li>・個別保健指導では、喫煙者へ禁煙方法や禁煙外来の情報を提供している。</li> </ul>	乳幼児健診や特定保健指導など、機会をとらえて喫煙者に禁煙についての情報を周知する。		保健所が、市町に対し禁煙外来の情報提供していただいている。今後も他機関と連携し、禁煙対策を支援していきたい。
16	滋賀県市町保健師協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康相談を実施している。</li> <li>・結核検診受信者または肺がん検診、特定検診受診者の喫煙者(禁煙に対して無関心期の者を除く)およびCOPD検診受診者で現在喫煙している者に禁煙相談への個人通知をし、希望者に禁煙相談により個別健康教育を実施している。</li> </ul>	今年度の取組を継続する。	禁煙したいと思っている喫煙者を禁煙相談や禁煙治療へつなげることが引き続き必要。	禁煙治療を行う医療機関や禁煙支援を行う薬局等の情報共有したい。

各関係団体・機関におけるたばこ対策の取組について

資料2-2

5 その他

名簿 番号	機関・団体	①現在取り組んでいる事業・実績 等 (新たな取組については、項目 ごとに【新】を追記ください。)	②次年度の取組予定 (新規取組の検討等)	③今後の課題	④他機関・団体への協力依頼希 望、期待すること
3	滋賀県医師会			かかりつけ医の立場から、日常診療において禁煙や防煙の重要性を県民に対し啓発することを、所属会員に周知徹底させることが必要。	
5	滋賀県薬剤師会	妊婦やその同居者の喫煙状況や受動喫煙防止を踏まえて、プレコンセプションケアの講師派遣事業においても禁煙支援や受動喫煙防止に関する講演を実施する。			・事業所や保険者、地域自治組織から、禁煙支援出前講座等の依頼が来るよう周知いただきたい。 ・事業や施策立案時に協力できることがあると考えているので、事業所や保険者、地域自治組織が事業等を企画するタイミングで、当会が参画できるよう対応していただきたい。
6	滋賀県健康推進員団体連絡協議会				・チラシやティッシュ等の啓発物があれば、地域住民（該当世代）を対象とした食育等の啓発活動を実施する際に配布したり、会員を対象とした研修会や自己学習用に配布することが可能。
8	滋賀県たばこ商業協同組合連合会	たばこは法律で認められた嗜好品であることを周知する。 たばこ税の理解を促進する。	左記の継続	たばこを吸われない方と吸う方の共存社会の実現。	